

## 平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

|  |                                       |       |          |           |           |          |
|--|---------------------------------------|-------|----------|-----------|-----------|----------|
| 会計   | 款                                     | 項     | 目        | 事業コード     | 事業名       |          |
| 一般   | 04                                    | 01    | 02       | 144050    | 健康教育相談事業  |          |
| 総合計画   | 分野                                    | 暮らし   |          |           |           |          |
|  | 政策                                    | 2-6   | 健康づくりの推進 |           |           |          |
|  | 施策                                    | 1     | 健康づくりの支援 |           |           |          |
| 目的   | 健康づくりの意識啓発                            |       |          |           |           |          |
| 対象   | 市民全般                                  |       |          |           |           |          |
| 意図   | 各種健康教育、健康相談等を通して、市民の健康づくりの意識啓発を図る。    |       |          |           |           |          |
| 事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること  |                                       |       |          |           |           |          |
| <p>◆脳卒中予防対策等事業：健康アップ講座等の各種健康教育、健康相談、要指導者への個別指導。</p> <p>◆自殺予防対策事業：「こころの体温計」サイトの開設、ゲートキーパー養成講座等。</p> <p>◆健康づくりフロンティア事業：生活習慣病の早期発見と発症予防のため、大迫地域において継続して実施（事業の一部を東北大に委託）。自動血圧計の貸出等により家庭血圧測定を全市へ波及。</p> <p>◆保健大学：適切な医療情報の提供の機会として実施（事業の一部を花巻市医師会に委託）。</p> |                                       |       |          |           |           |          |
| 市民参画の有無 [ 対象外 ]  |                                       |       |          |           |           |          |
| 市民協働の形態  |                                       | 共催    |          | 実行委員会・協議会 |           |          |
|  |                                       | 後援・協賛 |          | 補助・助成     |           |          |
|  |                                       |       |          | 事業協力・協定   |           |          |
|  |                                       |       |          | ○ 委託      |           |          |
| 活動指標（上記「事業概要」に対応）  |                                       | 単位    | 区分       | 27年度(実績)  | 28年度(実績)  | 29年度(計画) |
| ①  | コンビニ等を利用した普及啓発                        | 枚     | 計画       | 8,000     | 8,000     |          |
|  |                                       |       | 実績       | 10,000    | 10,444    |          |
| ②  | 各種健康教育の開催                             | 回     | 計画       | 100       | 100       |          |
|  |                                       |       | 実績       | 126       | 127       |          |
| ③  |                                       |       | 計画       |           |           |          |
|  |                                       |       | 実績       |           |           |          |
| 成果指標（上記「意図」に対応）  |                                       | 単位    | 区分       | 27年度(実績)  | 28年度(実績)  | 29年度(計画) |
| ①  | 自分自身が心身ともに健康だと思う市民の割合[まちづくり市民アンケート結果] | %     | 目標       | 72.0      | 71.5      |          |
|  |                                       |       | 実績       | 58.7      | 60.2      |          |
| ②  |                                       |       | 目標       |           |           |          |
|  |                                       |       | 実績       |           |           |          |
| ③  |                                       |       | 目標       |           |           |          |
|  |                                       |       | 実績       |           |           |          |
| 成果指標の達成度   | 目標値より高い                               |       | 概ね目標値どおり |           | ○ 目標値より低い |          |

|   |               |   |
|---|---------------|---|
| 成果指標の達成度の要因分析<br>(新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)  |               |   |
| 市民アンケートの「心身ともに健康だと思う市民の割合」の質問項目は、個人の「健康感」を尋ねている質問であるが、本事業により数値が上昇していく可能性はあるが、事業評価として即反映させることは難しいと考えられる。 |               |   |
| 目的妥当性   | 公共関与の妥当性      | 『健康増進法』に基づいた事業であり、市が市民の健康意識の向上のために実施することは妥当である。   |
|   | ○ 妥当である       |   |
| 見直し余地がある  |               |   |
| ○ 妥当でない   |               |   |
| 有効性   | 成果の向上余地       | 心身ともに健康だと思う市民の割合が減っている。(H23年度69.5%→H28年度60.2%) 高齢化の加速も一因と言えるが、事業の展開の在り方など、更なる工夫が必要である。    |
|   | ○ 向上余地がある     |   |
| 向上余地がない   |               |   |
| 効率性   | 事業費・人件費の削減余地  | より効果的な事業展開のため、健康アップ講座等の集団向け事業に加え、生活習慣病発症の危険度の高い個別対策を開始した。しかし、マンパワー不足の補完等課題も多いため、削減の余地はない。 |
|   | 事業費の削減余地がある   |   |
|   | 人件費の削減余地がある   |   |
| ○ どちらも削減余地がない   |               |   |
| 公平性   | 受益と負担の適正化余地   | 各種の健康講座、保健大学、自殺予防事業は一般市民を対象としている。健康づくりフロンティア事業については、事業で得た有効な情報を市民全般に波及できるため適正である。         |
|   | 受益機会の見直し余地がある |   |
|   | 費用負担の見直し余地がある |   |
| ○ 適正である   |               |   |
| 総合評価 …上記評価結果の総括   |               |   |
| ◆岩手県保健福祉部が発行している保健福祉年報では、当市の脳血管疾患の年齢調整死亡率（人口10万対）は順調に低下している状況である。<br>(平成27年花巻市39.5、岩手県45.2、中部保健医療圏43.7) |               |   |
| ◆市医師会の協力により実施している「保健大学」は、受講者数が増加した。<br>(平成28年度は延べ受講者443名、平成25～27年度の延べ平均受講者数244名)                        |               |   |

平成 28 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

| 会計 | 款  | 項  | 目  | 事業J-ト  | 事業名      |
|----|----|----|----|--------|----------|
| 一般 | 04 | 01 | 02 | 144050 | 健康教育相談事業 |

単位：千円

|      | 27年度<br>決算額(A) | 28年度<br>決算額(B) | 29年度<br>現計予算額 | 決算額前年比<br>(B-A) |
|------|----------------|----------------|---------------|-----------------|
| 事業費  | 5,520          | 5,629          |               | 109             |
| 財源内訳 | 国・県            | 1,290          | 898           | △ 392           |
|      | 地方債            | 600            | 700           | 100             |
|      | その他            | 198            | 150           | △ 48            |
|      | 一般財源           | 3,432          | 3,881         | 0               |

| 事業期間 | ○ 単年度繰返 | 期間限定 | [平成 年度 ~ 平成 年度] |
|------|---------|------|-----------------|
|------|---------|------|-----------------|

部重点施策における目標

健康に対する意識が高まっています。

事業開始の背景・経緯

『健康増進法』に基づく市町村の責務であり、同時に、市民の健康づくり推進を目的とする『健康はなまき21プラン』の推進のため開始。

事業概要

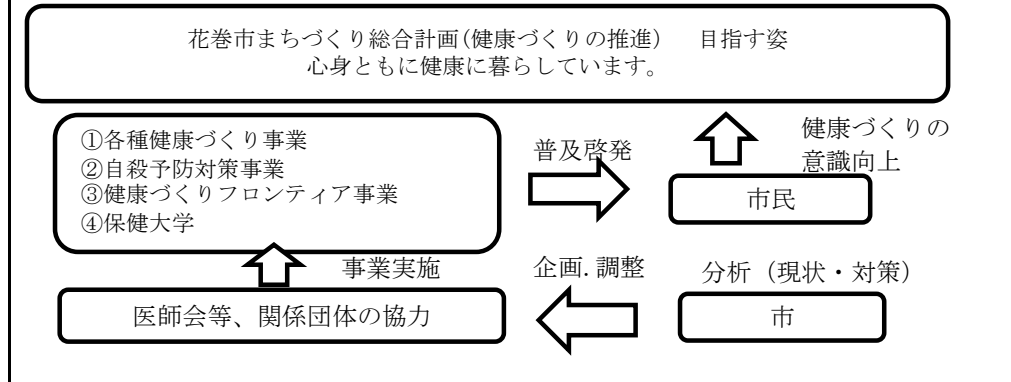
- ◆脳卒中予防対策等事業：健康アップ講座等の各種健康教育、健康相談、要指導者への個別指導。
- ◆自殺予防対策事業：「こころの体温計」サイトの開設、ゲートキーパー養成講座等。
- ◆健康づくりフロンティア事業：生活習慣病の早期発見と発症予防のため、大迫地域において継続して実施（事業の一部を東北大に委託）。自動血圧計の貸出等により家庭血圧測定を全市へ波及。
- ◆保健大学：適切な医療情報の提供の機会として実施（事業の一部を花巻市医師会に委託）。

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

市民全体の健康づくり意識を向上させるため、集団向け対策の事業展開の方策を工夫していくとともに、生活習慣病発症危険度の高い者への個別対策の強化が必要である。  
また、高齢化の進展等に伴う医療費や介護保険料の増加抑制にむけ、当市の重要な健康課題である『脳卒中予防』を軸とした系統的な事業展開に努める必要がある。

担当部署 部名 健康福祉部 課名 健康づくり課 担当係長 及川道子 内線 390  
(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



1 脳卒中予防対策等事業 H27 3,094千円 → H28 3,564千円 (前年比+470)

- ①健康アップ講座 (出向き型健康講座)
- ②各種健康教育
- ③各種健康相談
- ④健康運動教室
- ⑤健康手帳の交付
- ⑥訪問指導

2 自殺予防対策事業 H27 722千円 → H28 200千円 (前年比 ▲522)

- ①心の健康講座
- ②ゲートキーパー養成研修会
- ③庁内会議

3 健康づくりフロンティア事業  
H27 737千円 → H28 889千円 (前年比 +152)

生活習慣病の早期発見と発症予防を目的とし実施。事業効果の向上のため、各種検査・分析等、事業の一部を東北大に委託。  
【対象：大迫地区】昭和62年当時の旧大迫町の健康課題対策として開始し、継続実施

4 保健大学運営委託事業 H27 967千円 → H28 976千円 (前年比 +9)

健康づくりの意識啓発に寄与する「適切な医療情報の提供」を目的に実施。運営にかかる調整等、事業の一部を花巻市医師会に委託。